

SB5X「V1.4」プログラムにおける製品仕様と未対応状況

この度は、B+COM SB5X をお買い上げ頂きありがとうございます。

B+COM SB5X は、音楽やナビ音声を聴きながら会話ができる「聴きトーク」機能を搭載しており、非常に快適で自然に音声を聴きながら会話ができるようになっていました。また、SB4X までとは全く異なった設計のため、SB4X までと同等の動作にはならない状況となります。以下は、SB5X 出荷プログラムバージョン、「V1.4」（第4段アップデートプログラム適用 Ver.）に関する今現在の製品仕様と未対応状況をお知らせ致します。なお、下記問題を改善したプログラムについては、対応プログラムが完成次第、順次アップデートページにてアップデートプログラムを提供予定です。

製品仕様

●【聴きトーク】中の、インカム通話とデバイス音声のボリューム調整について

【聴きトーク】中はデバイス音声のみリスニング時に比べ、デバイス音声は少し小さくなります。（声が良く聴こえるバランスに調整されます）また、SB5X 側でインカム通話音声とデバイス音声を個別に音量調整することができません。

※聴きトーク中の音量バランスを調整するには、デバイス側でボリューム調整をしてください。

●携帯電話、スマートフォンの動作確認について

SB5X と携帯電話、スマートフォンに関する動作においては従来のモデル（SB4X/SB213.EVO 等）と動作結果に差異が発生する可能性があります。携帯電話、スマートフォンに関する動作確認に関しましては、WEB にて随時更新予定です。

●多人数通話について

インカム通話の音声は、1対1の2人通話より、3人、4人通話となるに従い、音質劣化および音声の小音化、通信距離の短縮、接続不安定等の症状の発生頻度が高くなります。

未対応状況

●多人数通話について

B+COM Station や Media Server と接続する際、SB5X 側から発信して接続すると、Station や Media Server の電源が落ちてしまいます。

本プログラム V1.4 では SB5X 4 台でグループ通話の品質向上が図れていますが、接続する全ての SB5X に V1.4 プログラムを適用する必要があります。プログラム V1.3 以下の SB5X が混在すると、安定した通話できません。

SB4X(Lite 含む)などの過去モデルが混在するブリッジ接続による多人数通話機能は、接続はできるものの安定した通話ができない状況です。ただし、以下の方法でブリッジ接続することにより、安定性が向上します（SB5X 同士だけの場合より劣る）。その際、SB4X および SB4X Lite を交えた場合は、SB4X/Lite を「モード B」（OS2.0 以降対応プログラム）で運用する必要があります。

①SB4X(Lite)が1台、SB5Xが2台の3人通話

接続の形：(A) SB5X=(B) SB5X=(C) SB4X・・・呼出順番：(A)→(B)→(C) or (A)←(B)→(C)

②SB4X(Lite)が2台、SB5Xが1台の3人通話

接続の形：(A) SB4X=(B) SB5X=(C) SB4X・・・呼出順番：(A)←(B)→(C)

③SB4X(Lite)が1台、SB5Xが3台の4人通話

接続の形：(A) SB5X=(B) SB5X=(C) SB5X=(D) SB4X・・・呼出順番：(A)→(B)→(C)→(D)

④SB4X(Lite)が2台、SB5Xが2台の4人通話

接続の形：(A) SB4X=(B) SB5X=(C) SB5X=(D) SB4X・・・呼出順番：(A)←(B)→(C)→(D)

⑤SB4X(Lite)が3台、SB5Xが1台の4人通話

接続の形：(A) SB4X=(B) SB5X=(C) SB4X=(D) SB4X・・・呼出順番：(A)←(B)→(C)→(D)

※こちらは、SB4X,4X Lite の4人通話品質、安定性になります。

※2台をブリッジしている (B) または (C) の SB5X は、接続デバイスや状況により聴きトークのデバイス音声が入る場合があります。

●インカム通話について

インカム通話開通時、着信音が出力されてから約5秒前後マイクの音声が入る場合があります。

●オートグループコール

チェーン方式によるグループ通話を実施する際のコマンド【オートグループコール】操作は未対応となっております。